



今、あるマスクが大変注目を浴びています。

先日、将棋の藤井聡太7段が遂にタイトル取りましたよね。高校生17歳11か月で史上最年少記録更新。彼のファンは、和服は何を着たのか・勝負メシ何食べたのか・前髪ちょっと長い…から始まって、実によくよく観察しています。

あるファンがマスクに注目しました。長い時間かけて考える長考のタイトル戦で、彼のマスクがちょっと変わっていると。「もしかしたら、あれ、“夏用涼やか絹マスク” ちゃうか？」

福井県の小杉織物という会社。着物の帯を作っている会社ですが、軽くて・疲れなくて・フィットして・非常に負担が少ないという事で、絹で作ったマスクを売り出してるんです。「あれちゃうか?!」 当たり！ 数日で数万枚が売り切れてしまって。私も着けてみたいと思ったんですが。これ、紙のヤツですよ。

あの将棋の様子、私も最低限のルールしか分からないけど、あるインターネットテレビで30分ほど中継を見ました。それで1つ分かった事は、私の知識ではどっちが勝ってるのか全然分からんという事。

駒が配置されているけど、どちらが優勢でどちらが劣勢なのか全然分からない。

だけど、プロ棋士が解説してくれると、突然筋が見えるんです。

筋が見えると非常に面白くなるんですね。駒が置かれている意味が分かって来るから。

藤井さんが打つのは人工知能も予測できないという事で、解説者もよく分からなかったそうですが、彼がやる事はすごく先手先手を行っている。

ある意味、今の国際情勢はそれぞれの国が自由意思を持って、特に覇権国家/覇権の立場を維持したい国と、それを追い越して行きたいと思っている国は、生きるか死ぬかで大変な組討（くみうち）をやっている最中だと思うんですよね。それが米中です。世界はどこに向かって行くのか？

国際情勢を考えて行く時、予期せぬ事がいっぱい起こりますね。

例えば、今年2020年正月入った時、東京オリンピックが年内にないと予測していた人がいるでしょうか？ 誰も予測しなかった。思いがけない事が次々起こって、世界が起承転転転結ですよ。転がって行く。

今日ご紹介したいのは聖書預言です。今世界中が自由意思によって、それぞれサバイバルを懸けて動いているけど、最終的に人類がどこに向かっているのか、前もって語っている書物が聖書です。

聖書預言によると、これから世界はどこに向かっているのか？ 今の世界の動きはどこに繋がるのか？

ほんまにそんな事が書いてあるのか？ 書いてあるんです。それを最後に少しご紹介したいと思います。

最初に結論を言うと、やがて人類は大変な苦難の時代に入ります。

それは7年間続いて**患難時代**と言いますが、前半の3年半だけで地球人口が半分になります。

黙示録にそう書いてあるのです。

後半の3年半はもっと酷い。戦争・飢饉・パンデミック…、恐るべき事が**黙示録**にたくさん書いてある。

7年間の患難時代に入る前に、世界中を揺るがすような大事件が少なくとも2つ起こります。

①携挙。この地上からクリスチャンたちが忽然と姿を消す。

自称クリスチャンではなくて、本当にイエス・キリストを信じている者たちが忽然と姿を消す。

天に引き上げられるのです。これを“携挙”と言います。

②エゼキエル戦争。ロシアが幾つかの同盟国を率いて、中東の中心イスラエルに侵略戦争を起こす。この時、アメリカは行動しません。アラブの国々もその様子を見るだけで参加しない。ロシアが幾つかの同盟国を率いて、やがてイスラエルに入ってくると思うけど、ロシアの同盟国の中にヨーロッパの大国が入ってるんです。「その思いがけない国が、ロシアと同盟を組んでイスラエルに侵略戦争を挑むが、イスラエルに入るや否や超自然的な裁きで彼らは全滅する。それを世界中の人々が見る」と書いてあるんですね。今日は、今まで触れなかったけど、いよいよその準備が出来たかなと思われるので、その部分まで踏み込んで考えたいと思います。

今実際に世界で起こっている事は、今日のテーマにあるように米中の激突ですね。これについては数年前から申し上げて来ましたが、私、中国を非難しますけど、中国の人を非難しているのではないので、そこはご理解いただきたいのです。中国共産党について、私は非難しています。というのは、私たちの国にも関わってくるから。中国共産党政権がやっている事は、自分が世界に撒き散らした迷惑を活用して、自分たちの野心を実現しようとしているのです。

今年3月、皆さん覚えていますか？マスクが本当に手に入らなかったじゃないですか。九州の北九州市も困りに困っていた時、なんと3月末に、友好姉妹都市の大連から20万枚のマスクがどーんと届きました。実は2月初めに「中国、大変でしょう」と友好のしるしで、大連の役所に260枚のマスクを送ったんです。260枚で、50枚入り5箱プラス10枚ですよ。そんな言われなくても計算出来る。260枚のマスク送って20万枚返って来た。今新しくドラマで「倍返しだ！」というのあるけど、769倍返し。

「困っている時に、こんなにたくさんのマスクを送ってくれて、なんて素晴らしい。困った時の隣人こそ本物の隣人。中国って、なんてステキな隣人なんだろう。」
親中派の政治家たちが、まあ煽りに煽って「素晴らしいじゃないか」とほめたたえ、ワイドショーでも特集やったのですが、この事には裏があったんですね。

大連が送って来たマスクは、そもそも日本人の経営者が、日本向けのマスクを作るために大連に建てた工場で作ったマスクです。そもそも日本がマスクで困っている時、大量生産で送ろうとしていたマスク。それを中国共産党が全部没収したんですよ。なぜ没収できるのか？ノーと言えなかったのか？言えません。

10年前、中国は国防動員法という法律を作りました。中国共産党政権が国家の一大事と判断した時は、中国で営業している外国企業を含む全ての企業は、共産党政権が命じる全ての資材・設備・建物・製品・不動産に至るまで、「寄せせ！」と言われたら無条件に渡さなければならないのです。そのように定められている。だから、ノーと言えないんです。

そして、全部接收するだけ接收して、すぐに送らなかったね。日本が極限まで困るのを待って、そしてプレゼントという形で渡した。お人よしの日本人は「わあ。中国、なんて素晴らしいんだ！」良くない！
こういう事は徹頭徹尾やりましたね。

2月、日本政府が旅客機をチャーターして何回か飛ばして、中国で働いているビジネスマンたちを積んで帰って来た。最初に帰って来た人たちの中に2人、「なんでPCR検査受けなあかんねん」て帰った人いましたね。迷惑や。なんか、あの人たち、大阪弁話してたみたいで。大阪代表で「すいませんでした」、謝りたいくらいですよ。それはいいとして。

あの時、武漢はロックダウン。完全封鎖。

公共の交通機関全部封鎖だけじゃなくて、高速道路も一般道路も、もちろん空港も。

だから、帰りたくても管制官がいらないから、飛行機が飛び立つ事が出来なかった。

ところが日本政府とのやり取りで、「日本が飛ばすチャーター機のために、武漢空港を再開してあげます！」
4回か何回か飛んで、日本人を日本に連れ帰りました。

あの飛行機、行きしな武漢に向かう時、空っぽで飛んでいると思いますか？とんでもないですよ。

中国が命じるままに、日本でもそれから非常に必要になって来る物資、N95 という医療用マスクから始まって防護服・消毒液、積めるだけ積んで武漢に行ったんです。なぜそうしなければならなかったのか？

武漢の日本人ビジネスマンたちが人質カードとして使われていたという事なんです。

「本当に戻して欲しいのなら、まず我々の言い分を吞め！」という事で、親中派の2フロアという…。

分かってくださいよ。個人名やると色々問題があるので、隠語にさせていただきたいと思います。

2フロアと言うと、和歌山出身の、選出の、あの方の事ですよ。

色んな事があって、結局中国になんぼ貢献してても、人質カードに使われるだけです。

日本に対してだけじゃないですよ。1月23日に武漢ロックダウン。

それまでは人-人感染なんか起こらないとWHOに言わせてですよ。

初期の段階で隠蔽した習隠蔽…、固有名詞じゃない。言い間違っているだけですからね、これ。

それが結局、世界中に大迷惑を撒き散らす事になったわけですよ。

ところが1月の頭の段階で、共産党政権は世界中の中国の商社マンたちに、「自分が赴任している国の医療物資を買い占めるだけ買い占めて買い集めて、全部中国に送るように」という命令を出してたんです。
アメリカでもカナダでも・ブラジルなど南米でも・オーストラリア・日本・東南アジア・特にヨーロッパの国々。「医療先進国・医療物資を潤沢に持っているような所で全て買い集めて、全部中国に送りなさい。」
それは1月末に完了していました。

そして2月に入り3月に入って、世界中に新型コロナウイルスが蔓延して、「医療物資がいるぞ！」となった時、あるはずの医療物資が無い。そりゃ、無いですよ。全部中国に送られてたんですから。

それで、世界中が困るだけ困ったそのタイミングで、プレゼントみたいな形で渡すんです。

これはね、まさにマッチポンプです。放火犯が後で消防士の格好して「助けに来ました」みたいな。

ほんとに戦略国家というか何というか。

そして今中国は、世界中の国の目が、自国の感染者拡大を抑えるためにいっぱいいっぱいになっている隙を突いて、周りの国々に対して、次々に侵略行為をしているわけですよ。

日本の尖閣周辺にも90日連続で公船を出没させて。

台湾は海と空両方ですよ。領海も領空も。中国の軍用機を飛ばしたりして。

7月にはベトナムやフィリピンが領有権を主張している南シナ海、そこには中国が勝手に埋め立てて造った人工島があるのですが、そこに中国海軍を派遣して大規模実弾演習をやっている。

インド。この前ありましたが、インドと中国の激突というか、近代兵器じゃなくてこん棒と石を使った。ストリートファイトかと。それで60人の死傷者が出た。

そして今度は、微笑みの国ブータンにまで手を出して。

極め付けが、6月30日深夜11時に、中国全人代の常務委員会で“香港国家安全維持法/国安法（こくあんほう）”、後ろから読んで法安国/法の暗黒…みたいな。

香港の独立を促すような、或いは仄めかすような事を言ったり・書いたり・行動した人は最高で終身刑。そんな法律を深夜の11時に施行した。

この法律の内容は前もってオープンにされず、直前まで内緒にして見せませんでした。大変酷い中身で。

コロナウィルスの蔓延で3密を避けるという事を大義名分にして、「3密になるからデモをやったらあかん」と言われたけど、この法律が施行された翌日の7月1日、止むに止まれぬ思いになった香港の人たちが1万人・2万人集まってデモ活動しました。

実は7月1日に、陸海空の人民解放軍が演習をやったんです。あんな狭い香港の狭い狭い地域で。

つまり、歯向かったら第2の天安門事件起こすのも辞さないという事ですよ。

彼らは“香港独立”というプラカードを掲げたんじゃない、“私たちは香港が大好きです”という非常に穏当な横断幕。“大好きな香港を殺さないでください”“大好きな香港を大嫌いにしないでください”中には“香港独立”もありました。いたけど、ものすごい小さい字で“反対”書いている。“香港独立反対”

彼らはそれをやったら酷い目に遭う事は分かっている。初日に370人逮捕されたんです。

なぜ、それでもやったのか？

香港の内部にいる人たちは、一旦中国の管理下に入ったらどんなに恐ろしい事が待っているかを、中国の外にいる私たちよりも、はるかに詳しく知っているからです。

同じ漢字文化圏で、中国語の読み書きが出来る彼らは、中国の生々しい内部情報を私たちよりよく知っているのです、このまま指をくわえて何もしないなら、次に何が起こるかという事を危惧しているのです。

3年前、ウイグル人女性ミフリグル・トゥルソン(Mihrigul Tursun/1989-)さんがアメリカに亡命しました。彼女は留学中だったのでしょうか、2015年にエジプトである男性と出会って結婚し、三つ子の赤ちゃんを産むんですね。1度に三児のママになって幸せ。

嬉しくて、ウイグル出身の彼女は、おじいちゃん・おばあちゃんに孫をひと目見てもらうために、生後45日の3人の赤ちゃんを連れて、ウイグルのウルムチ空港に着きました。

すると、到着するや否や公安警察が来て、問答無用で頭に袋をぱっと被せられて。

「何が起こったんですか?!何ですか?!」「黙れ。」そのまま刑務所に連れて行かれたんです。

彼女にはやましい事何もない。悪い事してないので話せば分かると思って行ったけど、そこで起こった事は、しつこい執拗な尋問と電気棒による拷問。毎日毎日毎日、尋問。

ところが、ある日釈放。どうして?「預かっているお前の3人の赤ちゃん、ちょっと病気や。様子見ろ。」窓越しに見るとぐったりしている。でも、触れる事は出来ない。

次の日、長男の亡骸。「ほれっ」と。三つ子の中で1番大きくて、1番元気があった男の子ですよ。

意味も分からずに突然生後45日の長男を失って、狼狽の中で実家に戻って働いていました。

しかし、ある日突然、また当局から連絡があって「出頭しろ。しなければ指名手配する。」

仕方がないので出頭しますが、その時は彼女だけ。そして執拗な尋問。3日3晩一睡もさせてもらえず。なぜ外国に行った?なぜエジプトに行った?エジプトで誰と会った?どんなグループと付き合っていた?中国の情報を渡しているのではないか?酷い尋問が続いた。

その時彼女が入っていたのは狭い所で、四隅に監視カメラがあって、24時間電気がついているんです。

そこに50人くらい入れられて、ぎゅうぎゅう詰め。全員が横になれないので、2時間おきに代わりばんこで寝たって。隣の部屋からは殴られる音・悲鳴・引きずられる音。

誰かが出て行くと、また誰かが補充される。

1番嫌だったのが、得体の知れない薬の注射を打たれる事です。

その注射を打たれると、赤く腫れるだけじゃなく、1週間くらい何とも言えない不愉快な倦怠感と同時に、記憶が断片的になって、見聞きした事を覚えられない状態になって来る。

彼女が知っている女性は、1か月間出血が止まらずに亡くなったそうです。

彼女自身は気がついたら精神病棟に入っていた。「お前はもう出て行け」という事が出たんですね。

ところが、出て行く時、当局の人間が2人くっつく。男と女。

彼らはどこまでくっつくかという、この日を境に一緒に生活するんです。

彼女の実家に入り込んで、彼女の家族が作る食事を食べて、寝る時は彼女の隣に布団敷いて寝るんですよ。外出の時もずっと一緒。何をする時もずっと監視下にあるので、両親と一緒に住んでいても、刑務所でどんな事が起こったのかを一切話す事が出来ない。恐ろしい事でした。

そうこうしている内に3回目の逮捕。今度はオレンジ色の囚人服を着せられました。

その時に言われたのは、「お前は終身刑か死刑かのどっちかだから遺書を書け。それをエジプトにいるお前の主人に届けてやるから、その住所を書け。」

そうしている内に、エジプトのご主人の実家が動いてくれたみたいですね。

エジプト政府から働きかけがあって、「なんで親子やのに一緒に住んでへんの？なんで拘束されてんの？」という事で、子供をエジプトに送り届けるという目的で、一時釈放が許されるのです。

しかし、彼女が2人の子供をエジプトに送り届けるのと交換に、一族親族26人が拘束されるんですよ。「2か月以内に新疆ウイグル自治区に戻って来ないなら、彼らがどうなっても知らないぞ。2か月以内に帰って来たら釈放してやる。」

そしてエジプトに行くのですが、エジプトに着いて分かった事はご主人が行方不明。

実はご主人は、奥さんがすぐに帰って来ると言っていて、いつまで経っても帰って来ないので、奥さんを捜すために新疆まで行ったんです。そして、空港で同じように連行されて懲役18年…。

という事を人づてに聞きました。いやあ、恐るべき事ですね。

そうして、エジプト国内の彼女の居場所をなぜか知っていて連絡が入り、「すぐ帰って来なさい。あなたのキャリアを考慮して良い仕事に就けてあげるし、もう拘束しないから帰って来なさい。」

しかし、彼女はもう縁を切った。

実は3回目の時、あまりにも酷い暴行が続いて、あまりにも辛くて辛くて、つい「神よ…」と言ってしまったんです。「お前の神が俺たちよりも強いのなら、今すぐお前を救ってみろ。」

とうとう彼女は「お願いですから、殺してください。」「簡単に殺すわけにはいかん。」

「なぜ私はこんなにひどい目に遭うのでしょうか？身に覚えのある罪はないのに3年間、どうして？」

当局は「それは、お前がウイグル人だから。」もう、究極の人種差別ですよ。

ウイグルは中国の中のサウジアラビアで、中国国内で採れる石油・石炭・レアメタルの3割は新疆からなんです。ここを手離す事はあり得ない。

しかし、その地面の上に住んでいる人たちをエスニック・クレンジングで抹殺しようとしている。

エジプトも安全でなくなって来て、エジプト政府がウイグル出身の人たちを中国に送り返し始めた。

国籍がエジプトであっても。なんで？一帯一路ですよ。金の力。

香港の国家安全維持法。国連の人権委員会が反対を表明しました。

「これはムチャクチャじゃないか。50年間、高度な自治を保障するという国際公約を破っているじゃないか！これはけしからん。遺憾だ！」

日本も含めて27票/27カ国が「これはどういう事か?!」と言ったけど、キューバを始めとして53票が賛成だったでしょ。いや、金の力、なんぼすごいか！

こういう事があって、エジプトも安全じゃないので、エジプトのアメリカ大使館に逃げ込んで「助けてください。」アメリカは「あなたを守りましょう。」

良くしてくれ、様々な手続きがあったけど、結論として、アメリカに亡命できました。

「今、私はアメリカに住んでいます。が、アメリカにいても夜中にインターホンが鳴ります。

運転していると中国人ドライバーの執拗な追跡があります。スーパーでも尾行があります。

アメリカでも3度引越しを余儀なくされました。でも、私はこの事を皆さんに知って欲しいんです。

こんな事が今起きているのです。」

清水ともみさんという方が、これを漫画にして描いていて3冊シリーズ。

ネットで見える事が出来るので、是非お読みください。

香港にいる人たちはそれを知っている。

昨日ウイグルで起こった事は、今日これから香港で始まろうとしており、そのまま何もしなければ、明日台湾で同じ事が起こり、最終的に、その延長線上に沖縄、そして日本があるんです。

だから、他人ごとの問題ではない。どうするの?!という事ですよね。

それに対して、アメリカが大きなカウンターに出ているわけです。

もちろん、コロナの問題の前から米中対立はありました。

その前にちょっと不思議に思うのは、なんで中国って…。この共産党政権は世間から非常にひんしゆくを買っているような最中に、なぜもっとひんしゆくを買うような事を立て続けにやるのか？

ほとぼり醒めてから…じゃなくて、ひんしゆくオンパレード。連続パンチですよ、これ。なんで？

習近平が1番尊敬している政治家は毛沢東（1893-1976）です。

毛沢東は1958年に大躍進政策を始めました。皆さんもご存じだと思いますが。

「15年でイギリスを追い越すような先進国になるんだ！」なんで、そんな事を言ったのか？

1957年にフルシチョフ（1894-1971）が「15年でアメリカを追い抜く先進国になってみせる！」と豪語したんです。それを見て、自分たちも見習おうと「我々は15年でイギリスを追い越す富める国になる！」

工業でも農業でもあらゆるジャンルで、中国は世界の最先端を行く国になる。

そのために大躍進する必要があるという事で、独裁者毛沢東があれせい、これせいと。

よう分かってないのに。

まず農業生産倍増だ！どうしたらいいのか？毛沢東は農業の専門家じゃない。

良い作物のためには、土地に肥やしをやらなければならない。で、何をやったか？

普通の糞尿だけじゃないですよ。女性の頭を丸刈りにして、髪の毛を肥料にした。

その内、地方の党の役人が毛沢東から良く思われたくて、ある村に約3千件の家があったのを全部潰して肥やしにするんですよ。家を肥やしにするって、意味分かります？

当時の村の家は泥と藁で出来ている。だから家を潰して、肥やしで撒いたら豊作になる、言うてね。

だけど、それだけの事をやって、豊作にならへんかったら大変。豊作になったという事にしたんです。

人民日報がそれを大々的に報道してしまったので、「なんだ。そんな方法があったのか」と年内に5万件

潰されました。最終的に、白砂糖撒いたんですよ。畑に。

もう、独裁者が「良い肥料出せ」言ったら、それが自己目的化するんです。なんぼ採れるかとか関係ない。

作物をもっと採るために4大駆除運動をやろう。ハエ・蚊・ネズミ・雀。

「これが作物を荒らすんだ。これを駆除しろ！」6億人が駆除に走り回る。

雀 20億羽・ハエ 100万トン・蚊 11トンって、どんだけ取ったん？

蚊は分かりますよ。パチンて両手叩いて取れる。雀、どうやって落とします？

雀…鳥は24時間飛んでいるんじゃない。渡り鳥じゃあるまいし。枝に止まって休むでしょ。

休めないように全ての木々の下に人民が集まって、鍋持って棒で叩くんです。カンカンカン！

雀が止まったらカンカンカン！雀は止まれないから、次の木に行こうと思ったら、そこにも人がいてカンカンカン！その内飛び疲れてポタッと落ちたのを捕まえる。それで20億羽。

その結果、次の年、ウンカとイナゴが大発生して大凶作。なので、ソ連から雀を輸入しました。

大躍進運動。『毛沢東の大飢饉』という本があって、読んでると、もう気が狂いそうになります。

でも、私の話聞くより、この本を読んだ方が説得力あると思います。

大躍進運動で農業も工業も何も。鉄作れ！で、炉を自分たちで手作りでやった。

くず鉄しか出来ないの、既に鉄製品で持ってた鋤・鍋・鎌とかを全部溶かして。

もっと劣化したくず鉄になってしまうので、そういうので作った鋤で耕したら1年でダメになる。

結局、手で掘るんです。大躍進運動の結果、中国の農民は石器時代に戻ったんですよ。

それが1958年に始まって1962年まで続いて、4500万人が亡くなり、250万人が処刑されて亡くなった。

5年も続いて、何が躍進?!さしもの毛沢東も党内で「こんなん、あかんのちゃうか？」

「こんなん、あかんのちゃうか？」と1番言ったのが劉少奇（りゅう しょうき/1868-1969）です。

劉少奇の一の子分が鄧小平（とう しょうへい/1904-1997）。

劉少奇は後に行方不明になったのですが、ある時、死んだ事が分かりました。

秋田大学の中嶋嶺雄（なかじま みねお/1936-2013）先生。もう亡くなられましたけど中国研究の第一人者。

あの方は人民日報を隅から隅まで、ずっと読んでる。ある時、“劉少奇未亡人が”という一行を見つけた。

その一行で「あ、劉少奇、死んだんや」と分かったんです。

公表されている情報だけでも、専門家が隅から隅まで読んでると、読み取れる情報ってあるんですよ。

大躍進運動は1962年に終わるけど、その時、毛沢東は党内の不満が湧いて来るのを感じ取りました。

どうしたか？突然ですよ。インドと戦争を始めたんです。そして、地域紛争でしたがインドに勝った。

一旦外国と戦争になると、内輪揉めしてる余裕はない。それで協力する。そして勝った。

手放しかけていた主導権を、外国との意図的なトラブルに勝利する事によって、もう1度取り戻した。

今やっている事はそれだと思います。

なんで、次から次に膨張政策を取るのか？

今、中国国内でも習近平への不満が募っていると思います。特に、江沢民（こう たくみん）派ですね。

だから、絶対に妥協できないんですよ。どれだけ世界からひんしゆく買おうが、非人道的だと言われよう

が、ここで弱気になるんじゃなくて押し切って、勝ったという形を残さない限り、彼の国内での権力闘争は非常に危ないものになります。やるしかないんですよ、これ。

そういう意味で、米中の衝突はますます激しくなります。

コロナ問題の前から既に始まっていましたが、この問題を通して、いよいよ互いに激突。
そして今、アメリカは中国に対して次々に繰り出しています。
まず、香港自治法という法律を通しました。
これは、香港の自由自治を消滅させる事に関与した人たちに責任を取らせる法律で、3段階あります。

①ビザ、あげない。

この問題に関与した中国共産党当局者は、アメリカに入る事ができない。
アメリカに行く用事あるんか？いっぱいありますよ。アメリカに資産を持ってるんです。そこで、

②資産をいつでも凍結・没収できる。

日本も共産党の金持ちに随分土地を買われてますよ。北海道の水源地とか。いっぱいやられてる。
アメリカにも彼らが持っている株や豪邸・様々な資産があって、それを凍結・没収できる。

③この当局者たちが銀行に口座を持っている場合、その銀行はドル取引できない。

ドルの送金やドル取引ができないという事は、銀行業務としておしまいです。という事は日本と関係する。
その人たちが日本の銀行に口座を持っていたら、その口座を潰さない限り、回りまわってその銀行も責任を問われる。アメリカは、やる時エグイです。とことんやりますね。

同時に、エンティティ・リスト (Entity List)、エクラ (ECRA) があります。

このリストに入った企業はアメリカとの取引ができません。代表的なのがファーウェイ。
ファーウェイのスマホ、持ってはりますか？
ここに来られる方の中で、まさかそんな人…いやいや、持ってても別にいいんですけど。

ファーウェイは漢字で“華為”。中華の為。5G ではどこの国より一歩先に出てる。すごい技術。安いし。
ファーウェイだけではなく、今まで5つの会社 GAFA とか。
とにかく監視カメラ・通信機器・IT 産業で中国の5大企業があるけど、8月31日から、この企業と取引したり、この企業が作った製品を採用している会社は、アメリカ政府関連の仕事が一切できなくなります。

僕は滅多に行かないけどジムの会員なんです。滅多に行かへんかったら何してんねんと。

行かなあかん行かなあかんと思いつつ、忙しくて中々続かない。月謝だけ払っている感じですわ。
でも、元取らなあかんという気持ちで、やっぱり月1回くらい行くんですよ。めっちゃ効率悪い。

今ジムに行くとマスクとアルコール消毒液が置いてあるけど、それだけじゃなくて、ゲートに非接触体温計があるんです。そこに立つだけで、ディスプレイに自分の顔が映って、今の体温がパパパと出る。
これが中国製。実はソフトバンクの子会社が提携してるんです。あんまり社名を言うとアレなんですけど。
この装置はイオンに入ってます。だから見てください。これかと。
イオンだけじゃなくて農林水産省・総務省・文部科学省に入ってるんです。
そこに立つと、まずパシャッと映るんですが、顔認証のデータや体温のデータは、その機械だけで収まっていますかね…？怖いですよ。

香港であんなに酷いデモが起こった理由の1つは、6月25日頃だったか、香港でも新型コロナウイルス感染者が出て来たという事で、香港行政長官の林鄭月娥（りんていげつが）が「PCR検査を受けましょう。その費用は自治政府が出すので皆さんはタダです。」

PCR検査は自費なら18,000円くらいするんじゃないですか？保険3割で5,400円くらい。初診料別で。

香港人、タダでPCR検査受け放題。

ですが、検査する会社が深圳（しんせん）の会社なんです。2社。香港に医療機関はなんぼでもある。香港人口700万人の検査ができる能力が香港にあるのに、わざわざ大陸の深圳の企業と契約結んで。PCR検査だから血液抜くじゃないですか。DNA情報が全部中国に入ってしまう。最終的に、内臓抜き取られるんじゃないですか？

前にも言いましたが、中国ではメディカル・ジェノサイド。

臓器移植はオンデマンドですぐに（*ドナーが）出て来るでしょ。

腎臓移植のドナーを日本で待つと普通は15年ですよ。

なぜそんなに長くなるかという、ドナーが出て来ても、血液型や体質で適合性がないと、移植後に拒絶反応を起こすので、ピッタリ適合する腎臓と出会うのに15年待たなきゃならない。

それが、中国では2週間。早かったら数時間です。

人間牧場のよう、臓器を提供できる人間を、前もって持っているんじゃないですか？

その人たちが法輪功だったり、ウイグルの人たちだったり。

いよいよアメリカは中国に対して、次々にこのような法律を打ち出しながら対決姿勢を強めている。

この法律の特徴は「中国への制裁だけではなく、中国の当局者に何らかのメリットを供与している第3国の企業も処罰を受ける」というものが殆どなんです。

つまり、この法律のポイントは“踏み絵”。

アメリカは多くの国々を中国から引き剥がそうとし、中国はアメリカの同盟国をアメリカから引き剥がそうとしている。今起こっている事は「アメリカと中国がなんか争ってるわ」という、そんな対岸の火事ではなくて「あなた、どっちに付くんですか？」という踏み絵ですよ。

その中で、イギリスは1月に「ファーウェイやめる」と言いました。

恐らく日本もそれに倣っていく事になると思います。

が、ヨーロッパの中で「中国との付き合いを続ける」と言っている国があるんです。ドイツ。

もうね、ずぶずぶなんですよ。アメリカはこの事で、ドイツに非常に大きなプレッシャーを掛けるけど、メルケルさんてね、何というか、どこ吹く風というか…。

トランプさん、先祖を辿って行くとドイツ人。ドイツ系の人。

だから言うてみたら、ドイツの政治家と合うというのはルーツじゃない？

だけど、ドイツ内のニュースの98%はトランプ否定です。

もうね、ほんとにぶつかっている。これが副作用を起こして、大変な事が起ころうとしているんですよ。

今日はそこを見たいと思います。

そこに入る前に、お馴染みの**旧約聖書エゼキエル書38章**。

エゼキエルは人の名前。預言者の名前。エルは“神”。エゼクは“強める”。

エゼキエルで“神が強めてくださる/神に強められた人”という意味があると思います。

彼は国が滅びてバビロンに引っ張って行かれ、そこで、幻で励ましのメッセージを聞きました。

その1つがこの**38章**です。書かれたのは2700年前。古事記が書かれたのが1300年くらい前。

日本で1番古い書物よりも2倍古い時代に書かれたのが**エゼキエル書**。

書いてあるのは「人類歴史に終わりが来る。それが近づいた時に起こる大きな戦争について」の預言。

内容は「ゴグと言われるロシアが単独ではなく、幾つかの同盟国を率いてイスラエルに入ってくる。

このイスラエルは、一旦世界中に散らされた後、もう一度世界中から戻って来たユダヤ人によって再建さ

れたイスラエル。息を吹き返し、復活したイスラエルにロシアと同盟国が入って来る。
入って来たら、彼らは創造主の裁きを受けて全滅する。それを世界中の人々が見るようになる。」
解説して行きたいと思います。

エゼキエル書 38:2

人の子よ。メシエクとトバルの大首長であるマゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言して、

マゴグは黒海とカスピ海の間で、今はカフカースと言われています。
コーカサス（カフカース）山脈が走っている辺りのマゴグの地にいるゴグとはロシアです。
なぜ分かるのか？メシエクとトバルの大首長だから。

メシエクはモスクワの語源。トバルはトボリスクの語源と言っています。

ロシアは、ウラル山脈から西側がヨーロッパロシア。中心がモスクワ。

ウラル山脈から東側の広大な土地はシベリア。中心がトボリスク。

ロシアはかつて 250 年間、地図から消えた事がありました。今は“泣く子も黙る恐（おそ）ロシア”でしょ。
この恐ロシアを滅ぼした国があるんですね。モンゴル帝国ですよ。

チンギス・ハンの孫がザーッと攻めて来て、ロシアはあっという間に攻め滅ぼされ、250 年間モンゴル帝国の属国になります。属国状態から独立したのがイワン雷帝（1530-1584）。彼がロシア建国の父です。

モンゴル帝国に蹂躪されていた時、西シベリアー帯を治めていたモンゴル皇帝がシビル・ハーン。
何か連想するじゃないですか。シビル・ハーン、シビルハーン、シベリア…。いや、ほんまやし、これ。
シベリアというのはモンゴルの言葉から来ているんですよ。

モンゴル語で要塞はクレムリン。クレムリンもモンゴル語から。

モンゴルって、めちゃくちゃにやった国。ものすごく怖かった。

もし朝青龍にプーチンの権力が加わったら、どんな事が起こるでしょう。

世界史の中で、モンゴルの部分がスパッ抜けてると思いますね。

とにかく、ヨーロッパロシアとシベリアの両方を兼ね備えている国は現在のロシアなんです。

エゼキエル書 38:15

あなたは、北の果てのあなたの国から、多くの国々の民を率いて来る。

彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

あなたはゴグの事。ゴグはイスラエルから見て北の果てにある国。

イスラエルの中心はエルサレムです。エルサレムから北極点に向かってまっすぐ伸ばして行くと、モスクワの上空を通るんです。イスラエルから見て真北の方向にある最後の都市がモスクワ。

モスクワを首都にしている国は現在のロシアです。

ロシアの国章は双頭鷲。1 羽の鷲ですが、首から二股に分かれて頭が 2 つ。東と西を向いてる。双頭鷲。
これは、ローマ帝国が東西に分かれますが、ローマ帝国の継承国家はロシアだという意味です。

ロシア皇帝を“ツァー”と言いましたが、元々の語源は“カエサル（カイザー）”。ローマ皇帝の事です。

このロシアがやがてイスラエルに入ってくる。それは単独ではなくて、同盟メンバーのリストが 5-6 節。

エゼキエル書 38:5-6

5. ペルシャとクシュとプテも彼らとともにおり、みな盾とかぶとを着けている。

ペルシャはイラン。クシュはスーダン・エチオピア。

プテはリビアという説とソマリアという説があります。これはまた別の機会にお話したいと思います。

6. ゴメルと、そのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマと、そのすべての軍隊、それに多くの国々の民があなたとともにいる。

このゴメルという国。ゴメルという民族。ゴメルって何なのだろう？

2600-2700 年前に書かれたエゼキエル書はユダヤ人にとっても古い書物です。

エゼキエルはゴメルが何を意味するか知ってて書いたけど、それから千何百年もずっと時間が経つと、ゴメルが何なのか分からなくなります。

そこで、旧約聖書に登場する民族や地名が今のどの部分に当たるのかを解説したり研究したり、当時の人々の言葉に置き換えて説明している本があるんです。

これをミドラッシュと言います。タルムードも出て来ます。

ミドラッシュやタルムードではゴメルをなんと語っているのか？ゲルマーニアです。

ゲルマーニアはドイツの古語。ドイツはゲルマン民族でしょ。

エゼキエル書によると、ロシアはドイツと一緒にあって、再建されたイスラエルになだれ込んで来る。

そんな事、あり得ない事だったんです。だって、特に近代史ではドイツとロシアは犬猿の仲でしょ。

もう少し前だと、ロシアの中にドイツのお姫様の血が入ってたりするんですよ。ちょっとはしよるけど。

特に近代史を考えると、冷戦時代、ドイツは東西に分けられましたね。東ドイツと西ドイツ。

そればかりか、首都ベルリンが東西に分かれて西ベルリンと東ベルリン。

西半分は西側が睨みつけて、東半分は東側が睨みつけているという。

というのは、第一次世界大戦も第二次世界大戦もドイツがかんでるんです。

第一次世界大戦はドイツがセルビアと戦争する事で始まった。

第二次世界大戦はナチス・ドイツがポーランドに侵攻して始まったでしょ。

だから、20 世紀の大戦争は両方共ドイツで始まっている。

この冷戦時代、ドイツは同国民を人質に取られているようなもので、非常に恐ろしかったし、この西側を守るために NATO が出来たんです。NATO の話に行く前に…。

ドイツは今メルケルさんが首相ですが、実はドイツと中国、ずぶずぶなんですよ。

それには理由があります。ドイツの経済構造は極端な輸出依存型経済なんですね。

現在 GDP が 1 兆ドル以上の国が 15 あって、その中で GDP に占める貿易割合が高い国の 1 位はメキシコ。

メキシコはアメリカに輸出する事でもっている国です。

2 位は韓国。3 位はドイツ。このドイツと韓国の最大の輸出先が中国です。

ドイツの GDP に於ける貿易額比率は 68%。約 7 割を貿易で稼いでもっている国です。

ヨーロッパ市場は既に飽和状態で、よっぽどの物を作らない限りバカスカ売る事は出来ない。

しかし中国はこれからの国だ！という事で、メルケルさんは毎年のように中国に行って、今まで 11 回。

日本に何回来ました？中国詣ですよ。

因みに、日本の GDP に於ける貿易比率は 25%です。75%は国内経済で回してるんですよ。

5G/移動通信システム、皆さんまだ持っていないかと。持ってる方もおられるかもしれません。

5G って、2 時間の映画のダウンロードが 2 秒ですよ。2 秒！

5Gの技術はファーウェイが、もう一歩も二歩も先に行っています。

ドイツ最大の通信会社ドイツテレコム。これは日本のNTTです。

ドイツテレコムはなんとファーウェイと提携していて、国内12000カ所にファーウェイの通信機を中継基地として設置しているので、それによって4千万人の5Gをカバーしたと言われています。

ドイツの人口は8千万人なので、4千万人という事は人口の半分をカバーできるんです。

つまり、もうリターン出来るポイントを超えて、全面的にファーウェイを取り入れてしまったわけ。

これ、切ろうと思ったら、全部取っ払って、もっと高いものを導入する事になる。

メルケルさんはトランプ大統領から「ファーウェイ使うな!」と言われているけど、「ドイツは独立国家や。あなたが言うように、中国は侵略国家だと決めつける事は出来ないと思う」と言ったんです。

去年(2019年)9月にも習近平に会いましたね、メルケルさん。

その年、香港で200万人デモがあったんですよ。その事について、殆ど言ってないんです。そればかりか、

ヨーロッパが豊かだ・先進国だというのはこの300年くらい。

西暦で2000年間の内、ヨーロッパよりも中国の方がはるかに豊か・文明的・進んでいた状態が1700年。

ヨーロッパはぽっと出。最近ぽっと出て来ただけ。今中国は台頭して「うわっ!こんな事になった!」と。

いや、人類歴史の殆どは中国の方が進んで豊かだったじゃないですか。元に戻っただけの事ですよ。

「そういう風に言われて納得しました」みたいな事を言ってるんですよ。メルケルさん。

「漢民族は素晴らしい」みたいな。漢民族って…。中国の殷(いん)から始まって、周・秦・漢・前漢・後漢・明・清、孫文が来て、ズラーっと10個くらいある中で、漢民族の王朝は3つくらいじゃない?

だから、東洋史知らないのに、丸め込まれてしまうんですよ。

トランプ大統領は「なんで、そんなバックドアがついているような…。西側の情報を共有できないよ、そんなのを使ってるんだったら。」

すなわち「ドイツはアメリカの同盟国として意思疎通できなくなるぞ」と押すのですが、メルケルさんは「もうファーウェイ諦めます」と言わない。今でも進めています。

そしてNATOの問題。NATOは28カ国で出来ている集団的自衛権のグループです。

仮想敵国はロシア。対ロシアの軍事同盟。

28カ国の1つがアメリカで、トランプ大統領はヨーロッパに対して非常に不満があるんですね。

何が不満かというと、NATOの軍事費の7割はアメリカが出しているんですよ。

残り3割を27カ国のヨーロッパが分担しているけど、ヨーロッパは豊かで・安全で・文化的で・強いじゃないか。それが21兆ドルも借金抱えているアメリカに、なんで7割も軍事費の面倒みてもらってるんやと。タダ乗りと違うんかと。おんぶに抱っこもいい加減にせえよ、という事ですよ。

そして、何度かの交渉の後で2024年までに、22年やったかな?24年だと思います。

27の国々はGDPの2%に当たる部分を軍事費として出してくれという事が決まって、メンバーは皆同意したんです。ごねたんですよ。ごねたんですけど、結論としては「そうしますわ」という事で呑んだのに、2020年の段階で2%に到達している国は7つしかない。

残り20カ国は2%に行っていないのですが、最もパーセンテージが低いのがドイツなんです。

そして「2%とか多すぎる。1.25%が精一杯や」と。同意した後で。今1.23%です。

それで、トランプ大統領としては「何を言ってるんだ!」と、先月どえらい事を発表したんですよ。

NATO 軍の最大の基地はドイツにあります。在日米軍基地を除くと、アメリカが外国に持っている軍隊基地の中で1番でっかいのはドイツなんです。冷戦時代のピーク時には30万人いたんです。今は米軍兵士3万4500人+アメリカの民間人1万7千人、合計5万人のアメリカ軍人と準軍人みたいな人たちが、NATOのドイツ基地に勤務して守ってくれているわけですね。

トランプ大統領は「そんなんやったら、もうええ。」9月に2万5千人に減らすと。突然に。NATO軍最大の5万人の在ドイツ駐留米軍が2万5千人に減り、2万5千人はポーランドに行きます。これは、長い目で見て行くとNATOは瓦解します。というのは、もう1つの柱がトルコなんです。トルコもアメリカに非常に反発してるんですね。もしトルコとドイツがNATOの穴となって抜けて行ってしまうたら、NATOはもう瓦解します。

つまり、私たちはすごい時代に生きてるんですよ。今までの冷戦構造の延長線上にあった、ポスト冷戦の世界の常識がひっくり返るような時代に生きているという事なんですね。

さて、もう1つ大きな問題があるんです。

ドイツは、2011年3月11日の東日本大震災で、福島原発が事故を起こすのを見て一大決心をしました。それは、国内にある17基の原子力発電所を2024年までにゼロにするという公約です。

ドイツの環境問題の意識の高さはすごい。

原発は色々言われているけど、基本的には二酸化炭素を出さないじゃないですか。

それで17基もあったけど、今11基止まって、あと6基。2024年までに止めると。

それまではどうしているのか？風車とか太陽光とか。フランスからも電力を輸入する。

そんなこんなやってるので、ドイツは世界で1番高い電気料金。

日本の電気料金も高いけど、日本の1.5倍ですよ。

皆さんの家計の光熱費×1.5したら、ちょっと卒倒しませんか？「クーラー、もう1度上げとこか。」

それで、原発やめるんだったら、できるだけ二酸化炭素を出さない燃料で火力発電するしかないんです。火力発電に使う燃料の中で、1番二酸化炭素を出すのは石炭です。

その次は原油・石油ですが、1番少ないのは天然ガス。ハイドロカーボン。CHでHの数が多い。

そこで、ドイツはロシアとの間に強力なパイプラインを引いています。

ノルトストリームと言って、ノルトはドイツ語で“北”の意味があります。

ロシアで採れる天然ガスを、一旦バルト海までずっと北上して、バルト海の海底に天然ガスパイプラインを引いて、ドイツに直結する。1250キロ。

これによって送り込まれて来る天然ガスは、ヨーロッパ全体の需要の3割です。

トランプ大統領は「するな！」と言ってたんですけど、やってるんですね。

やってるけど、なぜそんな遠回りをしているのか？

今までのパイプラインは、途中ベラルーシとウクライナを通るんです。

ウクライナはロシアと一々ぶつかるので、こんなややこしい所は迂回したる！と北回りしてドイツに行く。

ウクライナがロシアと仲が悪いのは、ウクライナがEU志向・ヨーロッパ志向だからです。

ヨーロッパ志向のウクライナを干す事にドイツは手を貸しているわけですね。

そして今、ノルトストリーム2を建設中。

パイプラインを並行して引っ張って行って、天然ガスの輸送量が2倍になるんです。

それによって、ドイツはヨーロッパ全体の需要の6割をロシアに全面依存し、ロシアは自分の経済の稼ぎ

頭としてドイツを選ぶ事になる。ドイツとロシアが運命共同体になるんです。

これを完成させないために、トランプ政権はありとあらゆる妨害をやっていきます。

1250 キロの内の、あと 160 キロでドイツにくつつくんですよ。

トランプ大統領はどうしたか？「この工事に参入している企業はアメリカと取引できない！」

スイスのある企業は「それ困る！」。あと 160 キロで「降ります」って降りたね。

メルケルに対して「やめとけ」言うけど、彼女は「会社は他になんぼでもあります」って。ドイツ語で。

年内にはノルトストリーム 2 を完成させると。

中国問題でドイツを追い詰め過ぎた事によって、ドイツのアメリカ離れが進み、その制裁に嫌気がさすと同時に、結果としてロシア寄りに転換して行っている。

これが私たちの目の前で起こっているのです。ドイツが！ですよ、皆さん。

エゼキエル書 38:6

ゴメルと、そのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマ（トルコ）と、そのすべての軍隊、それに多くの国々の民があなたとともにいる。

長い人類歴史の中では起こり得なかったようなパワーゲームですが、それが今、私たちが生きている時代に目の前で起こっているという事ですね。

エゼキエル 38:8

多くの日が過ぎて、あなたは命令を受け、終わりの年に、一つの国に侵入する。

その国は剣の災害から立ち直り、その民は多くの国々の民の中から集められ、久しく廃墟であったイスラエルの山々に住んでいる。その民は国々の民の中から連れ出され、彼らはみな安心して住んでいる。

この出来事が起こるのは終わりの時代である。終わりの時代とは 7 年間の患難時代が近い時代です。

その時代に起こる世界情勢、そのパワーバランスはこのような状態です。

そして、その国は剣の災害から立ち直り、その民は多くの国々の民の中から集められ、久しく廃墟であったイスラエルの山々に住んでいる。その民は国々の民の中から連れ出され、彼らはみな安心して住んでいる。

今のイスラエルは世界中から集められたユダヤ人によって造られた国ですが、この国が出来て間もない時は周りのアラブの国々と 4 回戦争して、いつもハラハラドキドキ。

それが、今イスラエルと戦争しようと思っっているアラブの国って、もうないんですね。

アラブの国にとって、今イスラエル以上に恐ろしいのはイランだからです。

特にサウジアラビア。イランは真向いの国ですが、同じイスラム教でもスンニ派とシーア派は犬猿の仲。

長い間イランとやり合ってきたイスラエルと結ぶ方が、自分たちの生き残りにはプラスなんです。

だから、サウジアラビアの今の王子は、イスラエルがヨルダン川西岸に入植地を造るの、賛成と言っているでしょ。こんなんね、中東歴史の中で考えられないような発言ですよ。時代は大きく変わりました。

イスラエルが安心して住んでいるその時代にロシアが入って来ますが、

エゼキエル書 38:21

わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる。—神である主の御告げ—

彼らは剣で同士討ちをするようになる。

ゴグが攻められるのはわたしのすべての山々。すなわち、イスラエルに入ってからゴグが滅びる。彼らは剣で同士討ちをするようになるからです。多国籍軍だから、意思の疎通が出来なくなって同士討ちをする。

エゼキエル書 38:22-23

22. わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、豪雨や雹や火や硫黄を降り注がせる。

23. わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。

わたしがわたしの大いなることを示しというのは、イスラエルの地で、超自然的な方法で、この大軍団が滅びる事を意味します。

そして、多くの国々の見ている前でそれをする。

多くの国々は衛星放送やインターネットで、地球の裏側の中東戦争をリアルタイムで見る事が出来ます。しかし、これが書かれたのは 2700 年前ですよ。その当時、多くの国々が、地球の裏側で起こっている事をリアルタイムで見る手段なんかありません。しかし、これが実現する時代では可能になっている。不思議な事ですね。

もし藤井聡太の将棋を「次、どういう手を打ちます。どういう手を打ちます。ここで終わります」と解説する解説者がおいたら、気持ち悪いと思いませんか？

ゴールまで見た人ならそれが出来るでしょう。歴史を最後まで見通している創造主がおられます。

創造主から離れているという事が、世界情勢が分からない事であるし、人生の目的が分からない事でもあるし。創造主は実在しているのだという事を、この預言書を通して、創造主は語っておられるんですね。

最後に。皆さん、ケンドーコバヤシ (1972-)、分かりますか？ケンコバ。

下ネタいっぱい言うからあまり好きじゃないけど、私、あの人とちょっと関係ありますねん。

もう対極ですよ。どうか知らんけど。

あの人ね、僕の後輩なんですよ。彼は東住吉区出身で、中野中学出てるんです。

もっと言うと、東田辺小学校から中野中学に行って、初芝富田林高校出てから吉本興業に行ったんです。漫画の知識がすごくて。私とジャンルは違うけど。

私、個人の YouTube を始めまして『ごうちゃんねる』と言います。よかったらチャンネル登録してください。そしてね、イイネ！親指が上向いているのをサムアップと言います。それをチョンっと押してください。間違っても、下向いているやつをチョンとしないように。やる気なくなるので。お願いします。

コメントに「高原さん。先日『にけつッ!!』という番組を見ました。』『にけつッ!!』ってなんや？

「それにケンコバが出ていて、『バナナは完璧な果物だ。人が食べるための完璧なフォルムをしている。

誰かが作ったとしか思えないような形をしている』と言いました。創造主ですよ。って。

バナナ。そんなばなな！いやいや、すみませんでした。

持つのに良く、剥くのに良く、食べるのに良く。

こんなに食べ易い形状をしているのは、誰かが作ったとしか思えない！

ある方にそれを言ったら「だけど、世の中にはムチャクチャ食べにくい食べ物もあるやん」とか言うて。なるほど。そういう反論もあるのかと思いながら。

自然界を通して、この世界は偶然に発生したものではなく、設計者がおられる事が分かるではないか。

